

広報

かわごえ環境ネット

2026年1・2月号 No.207

あけましておめでとうございます。2026年がみなさまにとってよりよい1年となること、また、川越の環境がよりよくなることを祈念します。

川越のシンボルである「時の鐘」とその前の「鐘つき通り」は、昼間には観光客などにぎわいますが、対照的に人のいない冬の朝の澄んだ空気の中で凜とした姿が見られます。ぜひ朝早くお越しください。

(かわごえ環境ネット理事長 小瀬博之)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 2: 【報告】 伊佐沼キタミツウ観察会 (11月2日) / 雨と緑を楽しむグリーンインフラ PART2 (11月22日)
- 3: 【報告】 かわごえの森であそぼう！「やってみよう !! ネイチャーゲーム」 (11月29日)
- 4: 【コラム】 社会と環境について思うこと (37) 温暖化、希望はなくとも倫理はある
自然を訪ねて (25) ウバタマムシに思うこと
- 5: 【予告】 第24回かわごえ環境フォーラム (2月28日開催)
【後援】 第27回アースデイ川越 in 昭和の街 2026 (3月7日開催)
- 6: かわごえ環境ネットからのおしらせ／会員及び一般参加者を募集する行事・活動
- 7: 会員からのおしらせ
- 8: イベントカレンダー (1月1日～2月28日) / ボタニカルアート (17) スイセン

残したい川越の風景 (25) 冬の朝の「時の鐘」と「鐘つき通り」 (2025年2月19日撮影)



【報告】伊佐沼キタミソウ観察会（11月2日）

開催概要

日時：11月2日（日）9:00-12:00

場所：伊佐沼 天気：風もなく観察日和

参加者：14名（スタッフ含む）

- ・かわごえ環境ネットへの参加申込者：5名（全員女性）受付：菊地
- ・埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部等の関係者：8名

講師：稗島英憲氏

開催報告

キタミソウ生息地は荒川西岸では川越市伊佐沼だけです。去年は見られなかったエリアで、今年はキタミソウを見ることができました。

今回の観察会をどのように知ったか？

1. エコツーリズム拠点で観察会のチラシを見て申し込んだ
2. 川越水上公園のイベントで知る

3. 自然環境部会代表のお誘いを受けて参加

以上ですが、各種のイベント案内が「広報川越」に掲載できないため、市民に対する広報の仕方に工夫が必要と感じました。（菊地三生）



観察の様子



ルーペに代わりスマホで拡大!!



伊佐沼北側水辺での観察



キタミソウ 花の大きさは約5mm



参加者の「来て見てよかったです」集会

【報告】雨と緑を楽しむグリーンインフラ PART 2（11月22日）

開催概要

日時：11月22日（土）14:00-16:00

実施場所：川越市 有限会社栗原造園

参加者：9名 スタッフ：4名

講師：栗原薰氏（グリーンインフラ市民学会）

開催報告

土曜午後の暖かな秋の日差しの中、2024年に設立されたグリーンインフラ市民学会の栗原薰さんの話を聞く会を催しました。栗原さんには昨年霞ヶ関北でバイオネストのお話とワークショップをしていただき、環境対話カフェには2年続けてご協力いただきました。

今回の会場は造園内にある森の中のコテージのような建物。かわごえ環境ネット会員も含め13名が座って話を聞けるちょうどいい広さで、落ち着いて栗原さんの今までの活動内容や現在取り組んでいることを聞くことができ、これから先も続く自然へのまなざしを感じた集いでした。

「グリーンインフラ」。自然のもつ力をまちづくりに活かして安全で豊かな暮らしを未来につなぐ取り組み、という説明により、当たり前のようにただそこにあると思っていた山や木・花や草といった緑や大地は、電気、ガス、水道、通信網などと同じく社会の基盤を構成するために必須のものであるという概念な

のだと今さらながら気付かされました。

「庭は個人でできるグリーンインフラ」。話の中で出た栗原さんの言葉です。この言葉から、雨庭を作る、雨活をするといった、私たちも楽しんで取り組めることがその実践なのだとということをまた今日も教えてもらった気がします。

そして特に関心した点として、一般的な浸透しますだけでなく、焼き杭を打ち込んで作るたて穴の装置も雨水が土に染み込むのには有効なのではないかという栗原さんのひらめきを検証するため現在実験中だというのです。話が終わつた後でみんなで庭に出て、バイオネストも作られてある敷地内に仕掛けた実験装置も見せていただくことができました。

少人数による開催ということで、自己紹介や経験、未来への思いなど参加者全員が発話する時間を設けることができ、対話カフェの趣旨にも沿うことができました。ここからまた新たなつながりが生まれた会となったことも今回の収穫でした。今後の活動にも広がりがもてるそうです。

最後にタイトルについて一言。ちょうど1年前に開催された『雨と緑を楽しむグリーンインフラ講座』で具体的に実践をしている方々の話を聞く機会があり、私たちにできることの導入口を示し

てもらったのですが、グリーンインフラという全体を包む概念の理解が追いついてなかつた中、栗原さんにご相談をしPART 2として開催したという経緯があります。今回改めてお話を聞いたことで理解が少し深まり、個々の実践の先に豊かな世界を夢見ることができそうな、とてもいい回となったことをご報告いたします。（高澤日美子）



会場の様子



敷地内の見学

レインキャッチ



参加者の集合写真

【報告】かわごえの森であそぼう！「やってみよう!!ネイチャーゲーム」（11月29日）

「ママ！今日おもしろくないかもって言ってたけど、超楽しいよ!!」こんなふうに言ってくれた8歳の男の子。帰る時間になって「帰りたくない。」を連発していました。（やったあー!!!）

秋晴れを思わせる11月29日（土）（仮称）川越市森林公園計画地でかわごえの森であそぼう！「やってみよう!!ネイチャーゲーム」を開催しました。15組の親子参加があり、運営サイドのメンバーを合わせると70名のイベントとなりました。

場所は川越文化会館（ジョイフル）駐車場から「森のさんぽ道」を歩いて10分ほどにあるKさんの雑木林です。この3年ほど「くず掃き」（落ち葉掃き）が行われていないようなので、近年のナラ

枯れによる落下枝が心配でしたが、「川越フォレストクラブ」（奇数月の第2水曜日が活動日：詳細は本紙7ページをご覧ください）の協力で安全なスペースを確保しての開催でした。

今回初めて協力していただいた「ところざわシェアリングネイチャーの会（公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会所属）」の方たちによる「ネイチャーゲーム」の数々は、大声を出すアイスブレイクに始まり、雑木林の隅々に目を向けるアクティビティでした。いわゆる公園ではできない雑木林（多種の木々、実生の木、かわいい鳥の声、ハラハラ落ちる枯れ葉など）だからこそ楽しめます。

例年通り（2022年・2023年は「森

フェス」として開催しました）、かわごえネット会員は、落ち葉のステンドグラス（きれいな葉っぱは外部から集めたもの）、丸太切り、竹ぼっくり作り、どんぐりトロの4か所、親子が一緒に行う工作活動のために準備しました。

絶滅危惧種が多く残るこの雑木林も、世代交代や農家のあり方などで毎年変わっていきます。平地林にかかる相続税がたいへんという話も聞きます。この雑木林を残していくには、より多くの市民がこの雑木林の価値を知ることだと思います。来年もこのようなイベントを通じて、子どもたちに故郷川越のよさを知ってほしいと思っています。

（横山三枝子）



受付は地元の高校生にお願いしました



会場全体の様子



ちやいろの葉っぱを探すネイチャーゲーム



葉っぱ探しの様子



誰かにプレゼントしたい葉っぱを見せ合う



最後にフィールドbingoを実施



どんぐりで工作



丸太切りでどんぐりの台座を作る



どんぐりトロ



落ち葉のステンドグラスづくり



できあがった落ち葉のステンドグラス



竹ぼっくりづくり

【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと(37) 溫暖化、希望はなくとも倫理はある

地球温暖化を1.5℃以内に抑えるという目標達成が難しくなり、温暖化自体を否定したり、「無理ならあきらめよう」と対策を放棄する人も出てきました。専門家たちは「少しでも気温上昇を抑えるために温暖化対策は必要です」と呼びかけていますが、多くの人々は聞く耳をもちません。

正直に言うと私はペシミストなので、「1.5℃突破」という現状に絶望しています。今後百年の間に人類が辿る道には地獄が待っていると思っています。気候や生態系の安定が失われる、大規模な災害や飢餓が起り、限られた安全や富をめぐって人々が奪い合いを繰り広げ、大量の移民・難民が生じ、それがいつそうの摩擦や紛争を引き起こす、等々。専門家たちは「このままだとそうなる可能性があります」と、穏やかに警告を発していますが、私はペシミストなので、これはもうほとんど確定だと思っています。

もしかしたら何かがうまくいって手に負えない温暖化もぎりぎりのところで回

避けるのではないか、などという夢のような希望をもたずに最近つらつら考えて再確認したことがあります。環境問題の核心は、温暖化を防ぐためにどうするかという技術ではなく、むしろ私たちの生き方、暮らし方をめぐる倫理に関わるということです。

技術的な問題は、はっきり定まったある目標を達成するためにはどうしたらよいのか、という点に関わります。しかし自然環境に関して今私たちが問われているのは、そもそもどのような暮らし方、生き方が良いのか、ということでしょう。動植物や微生物を犠牲にしてでも私は快適に長生きしたい、コンクリートやアスファルトで地面を覆い空調のきいた部屋で環境から切り離された人工空間の中で私たちは豊かに暮らしたい、何億年もかけて蓄積してきた地球資源を今の世代の便利な暮らしのために使い果たしたい。このように私と私たちの今の欲望最優先で万事を決する生き方は良いのか、むしろ悪いのか。

倫理は、一定の目的のための手段で

はなく、無条件に尊重される価値に関わります。「人類が滅びないために」「孫の世代も豊かに暮らしていくために」といった、何かの「ために」ではない。また将来に希望や明るい見通しがあるときにだけ行われることでもありません。1.5℃を達成できるという希望が失われても、それどころか地獄の中でさえも、私の生き方は良いのか、という問い合わせなくなりません。自然環境の中で草木や動物や虫たちとどう付き合っていくのが良いのか、という問いは、今後ますます切迫感を増してくるでしょう。

かわごえ環境ネットで私は、生き方という点で尊敬できる人たちと知り合いました。自然を尊重して暮らしたいと抽象的に思っていた自分に足りなかつたことにもいろいろと気づかされています。地に足のついた地元の環境活動をもっと大事にしたいと思っています。

(高澤裕考)

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて(25) ウバタマムシに思うこと

タマムシ(ヤマトタマムシ)(a)は色鮮やかで金属光沢のある外骨格を持つ虫です。

同じタマムシ科に属するウバタマムシという虫がいますが、タマムシと違って茶紫色のわずかにメタリックな感じの目立たない色合いをしています。大きさはタマムシと同じか少し小さいサイズで、埼玉県では準絶滅危惧種となっていてあまり見ることのない虫です。

私がこの虫の名前を知ったのは十代のころ、カミキリムシ専門の虫屋の叔父に教えてもらいました。当時、クロカナブンとウバタマムシを見つけて割と珍しいと言われたことを思い出します。しばらくしてまたウバタマという言葉に出会うことになります。「うばたまの」という万葉集などの歌の黒、暗がりなどの枕詞として受験勉強中に一所懸命暗記しました。ウバタマという言葉を調べてみると、植物のアヤメ科のヒオウギの実の呼び名でした。

それから50年近く経ち、(仮称)川越市森林公園計画地の昆虫標本をかわごえ環境ネットへ寄附していただくこととなり、そ

の台帳を記録しているとウバタマムシがないことに気づき、採集者の方にウバタマムシはいないのですかと問うと、もう少し時間をかけければ採集できると思うとのことでした。ウバタマムシはマツの木をよりどころとして生きている虫なので“松枯れ”が起きたときにマツノザイセンチュウ、マツノマダラカミキリに対する薬剤空中散布等で相当の影響を受けたと思っていましたが、松の木もウバタマムシもしっかりと生きているようです。今年の夏の(仮称)川越市森林公園計画地で行われた虫の観察会で、講師の先生が前日に捕えたウバタマムシの成虫がプラスチックの容器の中でせわしく動き回るのを見てなぜかうれしい気分になりました。

8月の末にさきたま古墳公園に孫の埴輪づくり体験に付き合わされ、私はやることもないので園内を散歩していると、ひっくり返ったウバタマムシを見つけました。手に取ってみると腹側はきれいなメタリックなのに、背側は半分以上白いものに覆われて明らかにボーヴェリア菌に侵されている状態でわずかに足が動いていまし

た。そのままビニールの袋に入れ持ち帰り保存しようとしたが、2週間後にはボーヴェリア菌に食い尽くされてしまいました。(b)

(松永裕一)



(a) タマムシ

(b) 食われた
ウバタマムシ



ウバタマムシ

【予告】第24回かわごえ環境フォーラム（2月28日開催）

第24回 かわごえ環境フォーラム

日時・場所
2026年2月28日(土)
時間: 9:30~16:00 (9:15開場)
場所: ウエスタ川越2階 活動室1・2
川越市新宿町1-17-17 川越駅西口から徒歩5分
参加費無料 定員100名

午後の部 講師紹介

小江戸南古谷農園 代表 田中邦和
川越管轄で「みどりの認定」第1号取得。熱いハートを持った次世代を先取りする若手農家のリーダー

いなばこファーム 代表 稲田敏
就農4年目の自他ともに認める菌オタク。農薬も化学肥料も使わない「循環型農業」にチャレンジ中

川越ぐうすファーム 代表 増田知久
就農4年目の自他ともに認める菌オタク。農業も化学肥料も使わない「循環型農業」をモットーに市内笠幡エリアで環境にやさしいお米づくりを実践する若手農家

内容について、詳細は
かわごえ環境ネットHP→

参加申込・問い合わせ: かわごえ環境ネット事務局 (川越市環境政策課環境推進担当)
TEL: 049-224-5866 MAIL: kankyoiseisaku@city.kawagoe.lg.jp
主催: かわごえ環境ネット 従業: 川越市
協賛: パイオニア株式会社川越事業所、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、初雁興業株式会社、カナデビア株式会社

実施概要

日時: 2月28日(土) 9:30-16:00 (9:15開場)
場所: ウエスタ川越市民活動・生涯学習施設(2階) 活動室1・2 (川越市新宿町1-17-17、川越駅西口より徒歩5分)、
主催: かわごえ環境ネット
後援: 川越市 *川越市エコチャレンジイベント認定
協賛: パイオニア株式会社川越事業所、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、初雁興業株式会社、カナデビア株式会社

プログラム

①【午前の部】かわごえ環境活動報告会 (9:30-12:00)

(9:15から受付)

川越市内で環境をよくしていくために活動している市民の報告会です。

発表者・タイトルなど詳しい内容はかわごえ環境ネットホームページに2月上旬に掲載します。

②【午後の部】講演 & 意見交換会

「広めよう！環境にやさしい農業」(13:00-16:00)

(12:45から受付)

川越市内で活躍中の若手農家3名に、環境にやさしい農業の実践についてお話しいただきます。

講師紹介

小江戸南古谷農園 代表 田中邦和

川越管轄で「みどりの認定」第1号取得。熱いハートを持った次世代を先取りする若手農家のリーダー

いなばこファーム 代表 稲田敏

就農4年目の自他ともに認める菌オタク。農薬も化学肥料も使わない「循環型農業」にチャレンジ中

川越ぐうすファーム 代表 増田知久

「米づくりは風景をつくること」をモットーに市内笠幡エリアで環境にやさしいお米づくりを実践する若手農家

「かわごえ環境活動報告集」投稿・発表者募集

(1月19日まで延長)

①「投稿・発表申込書」提出期限(12月15日から延長)及び②レポート投稿(4ページ以内)最終期限: **1月19日(月)**③ウェスタ川越で発表: **2月28日(土)**投稿方法などの詳細は、かわごえ環境フォーラムホームページ(<https://forum.kawagoekankyo.net>)をご覧ください。

参加申込・問い合わせ

かわごえ環境ネット事務局 (川越市環境政策課環境推進担当)

Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800,

Email: kankyoiseisaku@city.kawagoe.lg.jp

*イベントの内容は変更の可能性があります



【予告・後援】第27回アースデイ川越 in 昭和の街 2026(3月7日開催)

テーマは「2050年のミライを創る」

開催趣旨 アースデイ川越は、みんなの未来のために、かけがえのない地球環境を守り、すべての人々と平和で安全な世界を作ることを目的としたイベントです。このイベントを通じて、「昭和の街」を舞台として、SDGs(持続可能な開発目標)の理念を基に、未来の持続可能な地域の社会・環境のイメージを、制作物・展示・ワークショップ・対話などを通じて出展者と来場者が共有することで、子どもから大人まで一人ひとりが豊かな暮らしや社会の姿を考え、実

行するためのきっかけをつかんでもらいたいと考えています。

開催概要

日時: 3月7日(土) 10:30-15:30

場所: 蓮馨寺 (川越市連雀町7-1) 及び蓮馨寺周辺の昭和の街

内容: 出展者によるワークショップ・展示、中高生、ミュージシャン、出展者によるステージイベントなど

*実施内容は変更の可能性があります

参加方法: 入場無料、予約不要

川柳コンテスト(2月7日締切)

お題:『2050年～ミライのまちの姿～』

応募方法: ①インターネット、②郵送、③昭和の街エリア応募箱「川柳ポスト」

審査・発表: 事前審査で10句程度を選定、当日投票で各賞を発表

賞品: 昭和の街で使えるお買い物券

詳細・問い合わせ: 第27回アースデイ川越実行委員会 委員長: 小瀬博之 E-mail: earthdaykawagoe@googlegroups.com

アースデイ川越 in 昭和の街ホームページ:

<http://showanomachi.net/earthday/>

理事会・事業運営委員会

10月22日（水）

①「かわごえの森であそぼう！」の参加申込状況の確認、各方面への参加呼びかけの実施を検討。②第24回かわごえ環境フォーラムの午後の部のタイトルを決定、3名をパネリストとしたディスカッションを実施。③歳末まち美化活動の開催期日と参加受付開始日を確認。④予算執行状況の確認。

11月19日（水）

①「第27回アースデイ川越 in 昭和の街2026」の後援申請承認。②12月13日（土）「いろいろなNPOが集まるまちのソーシャル活動見本市 in 川越」には横山副理事長が出席。③「かわごえの森であそぼう！」のキャンセル待ち申込者を参加可能に。④第24回かわごえ環境フォーラムの講師謝礼、報告集の発行部数、当日のプログラムの検討、講師との打ち合わせを1月に実施、ちらしの作成、協賛依頼方法と担当者。⑤歳末まち美化活動の団体申込、参加賞の対応、6コース設定、準備品担当者決定。⑥今年度発行予定の冊子「川越版レッドデータブック＆生き物ウォッチング」の増刷と予算増額の依頼があり継続協議。⑦会費未納者への督促実施。⑧会員数の訂正により11月19日時点の会員は個人133、団体19、事業者25、行政1の計178会員（理事長 小瀬博之）

会合

◆事業運営委員会 1月21日・2月18日（水）9:00-10:00

◆理事会 1月21日・2月18日（水）10:00-11:30

会場：1月21日は川越市役所3A会議

室（川越市元町1-3-1）、2月18日は同地階修養室

社会環境部会

2025年度の社会環境部会の活動は、「環境対話カフェ」をメインにしていきます。環境に関する疑問や思いは個人では抱いているけれど、なかなか日常生活の中で他者と意見を交わし合うという場がないという声をよく聞きます。そこで、社会環境部会では、川越のまちでこれまで環境活動をしてきた人や市民団体、自治会などがより多くの人に出会い、語り合う場をコーディネートしていきます。

現在、2026年の事業計画を検討していますので、かわごえ環境ネットの会員で社会環境部会として企画をしてみたいという方がいましたら、部会代表または事務局までご連絡ください。

（社会環境部会代表 増田知久）

自然環境部会

11月例会は14日（金）9名参加 オーク2H₂会議室にて開催された。12月例会は休止。

活動報告

①「（仮称）川越市森林公園」計画地定例活動：10月13日（月）15名参加 第2武藏野ふれあいの森の草刈り。10月27日（月）16名参加前回の続き。（以下*の日は6ページ末尾に写真あり）*11月10日（月）17名参加コナラ伐採により生じた林冠ギャップに林内の実生を移植する。コナラ・ウワミズザクラなど11本。11月24日（月）17名参加シュンランなど希少種の多いエリアの草刈り。*12月8日（月）16名参加前回の続き
②池辺公園定例活動：10月14日（火）

7名参加 落枝片づけ ウバユリ17株確認ごみ収集。*12月9日（火）7名参加落枝片づけ、低木の剪定。③寺尾調節池草刈り立ち合い：10月15日（水）オニナルコスゲ保護のため。④伊佐沼キタミソウ観察会：11月2日（日）9:00-12:00 2ページ参照、⑤ふるさとの緑の景観地：毎週火曜日に活動、伐採や植樹で自然再生。⑥「かわごえ里山イニシアチブ」田んぼの土壤分析では新たな発見あり フーマーズマーケット出店。

（自然環境部会代表 賀登環）

●自然環境部会（第2金曜日）

*会員であれば自由に参加できます

日時：1月9日・2月13日（金）13:30-15:00 会場：オーク2H₂会議室

広報委員会

2026年3・4月号（No.208, 3月1日発行）投稿募集（会員対象）

投稿期限：2月8日（日）

投稿方法：関係者にメールで通知

◆広報委員会

立案・依頼 1月7日（水）9:00-9:30、

入稿確認 2月4日（水）9:00-9:30 会場：オンライン（URLは委員に案内）

発送 2月25日（水）11:00-12:00 会場：川越市役所5階フリースペース

入会のご案内

1月から3月に入会した場合、会費は4月以降の翌年度から。年会費は個人会員（2026年度より値上げ）、団体会員ともに2,000円。詳細はかわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課）に問い合わせるかWebサイトにて（QRコード）。



入会案内

★会員及び一般参加者を募集する行事・活動

2025環境対話カフェ③「まちづくりと環境活動」

サブタイトル：まちと環境を軽やかに動かしてみよう。概要：様々なヒトとコトがつながっていく空間として構想されたゲストハウス「chabudai（ちゃぶだい）」にて、第3回環境対話カフェを行います。chabudaiの企画・運営者である西村拓也さんをゲストに迎えて、まちや環境に対する活動を軽やかに考え、実践するヒントを探します。ゲスト：西村拓也（chabudai共同代表）。ファシリテーター：増田知久（かわごえ環境ネット）

副理事長、お米農家）。日時：2月11日（水）11:00-13:00。場所：ゲストハウス ちゃぶだい（川越市三久保町1-14）

。参加費：1,000円、参加受付：1月5日（月）からQRコードのフォームにて受付

（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動

（毎月第2・第4月曜日）日時：1月12・26日、2月9・23日（月）9:30-12:30
集合：川越南文化会館（ジョイフル）問い合わせ先：賀登（Tel.049-234-9366）

池辺公園定例活動

（隔月第2火曜日）日時：2月10日（火）9:30-12:00 場所：池辺公園（川越市池辺1302）問い合わせ先：賀登（Tel.049-234-9366）

川越市環境計画見直し意見交換会

日時：2月25日（水）9:00-11:00 場所：川越市役所地階修養室及びオンライン 内容：「川越市環境行動計画」の見直し検討 申込：不要（直接会場）。オンライン参加は事前連絡必要

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

増田純一 (hatsukarinatosato@googlegroups.com, 070-5599-2623)

近況報告

11月30日(日)に認定NPO法人あいアイとの共同企画で「お正月飾りづくり」を開催しました。12月7日(日)ウェスタ川越・ウニクス川越で開催された「暮らしをいろどる Farmer's Market」に参加しました。主催者発表で川越史上初の2万人超え来場者を記録しました。



家族と一緒に正月飾りづくり



できました かわごえ里山ブース

予告

◎農業ふれあいフェスタ in 南古谷 1月18日(日) 10:30-15:00 東部地域ふれあいセンター(川越市並木452-1)で小江戸南古谷農園主催による「農業ふれあいフェスタ in 南古谷」に応援参加します。参加内容はマコモでしめ縄体験です。お餅つき体験もあります。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

Web <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

小畔川の自然を考える会

賀登環 (049-234-9366)

報告

10月24日(金)入間川川越橋付近の魚類調査:魚はオイカワ、カマツカなど、他にはトンボのヤゴ、ガガンボ幼虫などの水生昆虫が採捕された。今年度はこれで終了。



10/24 入間川魚類調査 10/24 カマツカ 12cm



川越フォレストクラブ

賀登環 (049-234-9366)

「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていない公有地やそれにつながる民有地を、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した生態系保全の手入れを行っています。埼玉森林

センタークラブの有志とかわごえ環境ネット会員で2020年に結成しました。今回のフィールドは20年以上放置されたヒノキの多いエリア。林床にはリンドウ、イチヤクソウなど希少種も多くあります。

報告

11月11日(水)は7名参加 林内の草刈り、エゴノキの枯損木が多く10本伐倒しました。

予告



11/11 エゴノキ伐採



川森 根腐れで倒れたコナラ

◎(仮称)川越市森林公園」計画地の手入れ

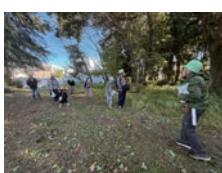
1月14日(水) 9:00-12:00 (奇数月の第2水曜日が活動日)

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (hkose@toyo.jp, 049-239-1532)

報告

①11月2・3日(日・月) 大学祭出展。森のツアー中に目の前で倒木が発生してびっくり。②11月15日(土) 8名での活動。「こもれびの道」が一新。③11月22日・12月13日(土) 研修活動でチェンソーによる安全伐倒・造材・集材などを実施。④12月6日(土) 9年ぶりの毎木調査。3組で900本以上確認。



11月3日森のツアー



11月15日集合写真



11月22日伐倒作業



12月6日毎木調査

予告

◎里山林保全活動(毎木調査)

①1月10日・②2月7日(土) 8:30-16:00

作業内容: 每木調査など 場所: 東洋大学川越キャンパス 定員: 15名(原則高校生以上、事前予約必要)

特設サイト <https://sites.google.com/>

5-8ページの記号凡例 ★: 本会主催・後援等一般公開行事 ●: 本会会員対象行事 ◆: 本会理事・委員対象会合 ○: 本会会員等主催のイベント等 ○: その他(個別記事参照)

toyo.jp/toyokomorebi

公益財団法人埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野(049-222-1731, 当日 090-7003-8617)

予告

◎伊佐沼でバードウォッチング (毎月第2日曜日) 集合: 10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止 持ち物: 筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物 参加費: 一般 300円、高校生以下 100円(保険代・資料代)

① 1月11日(日) 10:10-12:00 毎年行うガンカモ調査の日です。長年続けることで環境の変化を知ることができます。あなたの参加をお待ちしています。

② 2月8日(日) 10:10-12:00 一番寒い時期ですが、鳥は元気です。暖かい服装で参加をお願いします。

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (049-245-3581)

予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場: 高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース 参加費: 無料 持ち物: 直近2~3か月分の電気・ガス・水道使用量(料)のわかるもの。

参加されたみなさまと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話ししています。個々の取組が減災・防災につながります。

① 1月16日(金) 13:30-15:00 生命力を高める生活「空気と水編」「お日様の力を活かした、冬ならではの健康法」

② 2月26日(木) 13:30-15:00 生命力を高める「布・衣類編」(1辺25cmの布をお持ちください)「ちょっと待って!その布その服捨てる前に」少しの工夫で着やすくりメイク☆マイ箸袋づくり

*自然環境部会の活動写真



12月8日川森 今年最後の活動



11月10日川森 コナラの移植 12月9日落ち葉に覆われた池辺公園

2026年1月

1 木	元日
2 金	
3 土	
4 日	
5 月 ○	環境対話力フェ③参加受付開始(2月11日開催)
6 火	
7 水 ◆	9:00 広報委員会（立案・依頼）
8 木	
9 金 ●	13:30 自然環境部会
10 土 ○	8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動
11 日 ○	10:10 伊佐沼でバードウォッチング
12 月	成人の日
	★ 9:30「(仮称) 川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
13 火	
14 水 ○	9:00「(仮称) 川越市森林公園」計画地の手入れ
15 木	
16 金 ○	13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
17 土	
18 日 ○	10:30 農業ふれあいフェスタ in 南古谷
19 月 ○	「環境活動報告集」レポート投稿最終期限
20 火	
21 水 ◆	9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	
26 月 ★	9:30「(仮称) 川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	

ボタニカルアート（17）スイセン（発生：1-2月）

暖地の海岸近くに生え、よく庭園にも植えられているヒガンバナ科の球根植物です。花の少ない時期に容姿美しく、香りも良い。でも気をつけ下さい、たまにニュースで中毒事故が伝えられます。遠い昔に地中海沿岸地域から中国を経て伝わったものと思われています。学名はギリシャ神話の美少年ナルキッソスに因んで名付けられました。（岡治）



2025年11・12月号（No.206）紙版の訂正

2ページ 「【報告】小畔川魚とり遊び（9月27日）」の右下写真の説明（誤）カルムチー→（正）カムルチー

広報 かわごえ環境ネット

2026年1・2月号

No.207

2026年2月

1 日	
2 月	
3 火	
4 水 ◆	8:30 広報委員会（入稿確認）
5 木	
6 金	
7 土 ○	8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ○ アースデイ川越「川柳コンテスト」応募締切
8 日 ○	本紙 2026年3・4月号（No.208）入稿期限 ○ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
9 月 ★	9:30「(仮称) 川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
10 火 ★	9:30 池辺公園定例活動
11 水	建国記念の日 ★ 11:00 環境対話力フェ③「まちづくりと環境活動」
12 木	
13 金 ●	13:30 自然環境部会
14 土	
15 日	
16 月	
17 火	
18 水 ◆	9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
19 木	
20 金	
21 土	
22 日	
23 月	天皇誕生日 ★ 9:30「(仮称) 川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
24 火	
25 水 ★	9:00 川越市環境計画見直し意見交換会 ◆ 11:00 広報委員会（発送）
26 木 ○	13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
27 金	
28 土 ★	9:30 第24回かわごえ環境フォーラム（午前の部） ★ 13:00 第24回かわごえ環境フォーラム（午後の部）

インターネットアクセス（QRコード）



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



note



かわごえ里山



こもれび隊

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用して生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

発行日：2026年1月1日（第3版） 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1

Tel.049-224-5866（直通）, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoiseisaku@city.kawagoe.lg.jp

かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>